

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える方が多いことが特徴です。

感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。

重症化するのと肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。

特に高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。

空気感染は起きていないと考えられています。閉鎖した空間・近距離での大人数の会話等には注意が必要です。

飛沫感染

感染者の飛沫(くしゃみや、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触ると粘膜から感染します。

日常生活で気を付けること

まず手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いまししょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

持病がある方、高齢の方は、できるだけ人込みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、会社等を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

こんな方はご注意ください

次の症状がある方は
【仙台市・宮城県相談窓口】にご相談ください。

風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている(解熱剤を飲み続けなければならぬ)ときを含みます。*

強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患のある方は、上の状態が2日程度続く場合
ただし持病がある方は事前に電話でかかりつけ医にご相談ください。上記症状でコールセンターにご相談いただいた後、コールセンターから必要な措置をいたします。

帰国者・接触者相談センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介いたします。
マスクを着用し、公共交通機関の利用を避け受診してください。

一般的なお問い合わせなどはこちら
その他、ご自身の症状に不安がある場合など、一般的なお問い合わせについては、次の窓口にご相談ください。

早めにご相談ください

【仙台市・宮城県の電話相談窓口(コールセンター)】
電話番号 022-211-3883

【厚生労働省相談窓口】
電話番号 0120-565653 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~21:00 (土日・祝日も実施)
聴覚に障害のある方は、はじめ、電話でのご相談が難しい方 FAX03-3595-2756

仙台市議会

令和2年
新型コロナウイルス
質問

中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症の発生が複数報告されて以来、世界各地で患者報告が続いています。世界保健機関(WHO)の緊急委員会は、1月31日未明(日本時間)、中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生状況が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると発表しており、また、仙台市内で東北初となる新型コロナウイルスの感染が確認された仙台市は2月29日危機管理連絡本部会議を開催。

市内の感染確認に伴い、危機管理レベルを1から2に引き上げ、危機管理監がトップの危機警戒本部体制に移行させています。県と市が共同設置した電話相談窓口(コールセンター)は相談員の人数を増やしています。

先が見えない手探りの状況が続いている中で、少しでも仙台市民の生活に影響がでないよう、不安が解消されるように、私は令和2年第1回定例会で具体的な提言を含めた質問いたしました。以下質問項目です。

◎総務財政委員会 (令和2年2月21日) 小野寺健質問

- 現状の体制について
- ①経過、今までの取り組み
- ②仙台市内の現状→今後どのようなことがおきてくと想定しているのか
- ③昨日までの電話相談窓口への相談件数
- ④現在医療期間で調査している事例があるのか
- ⑤言い換えると、現状、電話相談窓口や医療機関で厚生労働省に示している新型コロナウイルス感染症の疑い例に該当するもの、思われるもの区保健福祉センター管理課が連絡を受け、感染症指定医療機関

おのどら健

仙台市議会議員
(泉区)

に取り次いでいる。区保健福祉センター管理課が感染症指定医療機関に取り次いだ数はどのくらいあるのか。

⑥市民は不安に思っています。私のところにも多くのお尋ねがあります。市民に対するよびかけ、周知が弱すぎます。

現在の危機管理レベル1、連絡本部の体制なのでこのような状態なのかも知れませんが、ホームページにはトップにはあるけれども目立たない。市政広報番組で十分にとりあげているかと思えない。CMをだすわけでも、市政だよりの臨時号をだすわけでもない、市がどのような考えをもっているのか。

現状のような状態なのかわからないし、何よりも感染が拡大していく中で、手洗いでいいのよいか、持病を持っている方が今は医療機関にいってもよいのかわからない。

何よりも相談窓口の認知が進んでいない。どのような対応していけばよいのか。わからないことだらけです。広報課は何をしているのか。今こそ出番です。

あらゆる媒体を使って市民と情報を共有していただきたき不安の払拭をはかることが大切だと思いますが、広報課長いかがが。

⑦テレビ、ラジオ、新聞フリーパーパー、ウェブコンテンツあらゆるメディアミックスで訴求をはかるべきです。コミュニケーション放送局とは協定を結んでいないのであれば財政局に用立てて、予備費、費目の流用など考えていくべき。

今こそ戦略的広報を、しっかりとした対応を求めるものです。答弁願います。

おむすびシートとともにこれからもみなさんの想いと市政をしつかりとつなごます

⑧ 今回の議会で、先般意見書を全会一致で決議しました。この決議は国へ求めているものではなく、あります。一方、仙台市において出来ることも指摘しています。項目は10項目ありますが、その中で国の対応を待たず、取り組みでいく、取り組みができたことがあるのか、確認します。

⑨ 今回の新型コロナウイルス感染症はこれより先の経済や地域の影響ははかりられません。多くのことが見通せない中で仙台市民が安心して生活が出来るよう、これまで同様の生活が出来よう市は手を尽くしていかなければなりません。時機をえたタイムリーな施策の展開が必要です。

危機管理監に伺いますが、他の自治体の中では感染症の対策強化に予算を追加提案するところや補正予算の編成準備にかかっているところがあるようです。私も必要であると思います。

危機管理室が中心となり、関係部局と協議し、財政局とご相談の上先んじての手立てを求めています。いかがが。

⑩ 大阪府ではコロナの感染症対策に7600万計上し、感染症発生に対応する専門家チームの設置、保健所に患者搬送車と防護服の配備、啓発のための電光掲示板を設置などにつかっています。

今後必要になってくるものの啓発・備えは早急にすべきです。財政局に伺いますが、とはいくものの緊急性が求められる事項です。今後緊急的な対応があるかと思えます。今年度予算においても予備費が1億ぐらいいあるかと思えますし、他の費目から移動するなど弾力的な対応を求めます。いかがが。

⑪ 今回、この質問をするのあたり準備を重ねてまいりましたが、疑問がでてまいりました。何を何点か質問します。

まずは、危機管理室の位置づけであります。地震、大雨対策では事務分掌も拝見しましたが権限もあるかと思えますが、こと感染症など危機管理に対しては権限が一元化されていない。

私はこのような感染症対策は指揮系統の一元化が必要で危機管理室は各局横並びではなく、局よりも上位に位置づけ2役直轄、ダイレクトに指示、命令が通っていく体制を構築するべきではないでしょうか。

⑫ ご当局は連絡本部体制でも大丈夫ということかもしれないですが、今回の件でも関係局の中で情報共有が早急にならなければいけないことも聞かれています。

できるようなこと、例えば健康福祉局、市立病院の担当課長、各局の主管課長に兼務・へいんに辞令を発令すべきと考えます。辞令をだすことは簡単なこと。ご対応いただきたい。

⑬ 国は発熱したら休んでほしいとの周知を行っています。学校もそうですし、会社もそうです。また、一人でもコロナウイルスによる感染症が発生した場合、学校閉鎖などの対応をするということです。

では仙台市役所ではどうなるのか。職員が休んだ場合、仕事が成り立つのか。かりに職員に感染者がでた場合職場閉鎖など行っていくのか。一連の国の報道によれば休ませる、隔離という方針が見えますがどのように考えているのでしょうか。

⑭ 私は仙台市はこのことに関する危機感がたりないと思います。

基本的なこと。まめな手洗い、アルコール消毒、マスクを使うことや、市区庁舎を含めて公共施設の消毒・清掃、トイレを清潔に保つなど必要なことやっていますか。

玄関口に張り紙だけ、入り口に消毒液はあるけれどこれだけで大丈夫ですか。市民のみならずと交流のある部署の方はマスク着用されていますか。市職員にコロナウイルス対策を徹底していただけないものでしょうか。

⑮ 昨日もご質問がありましたが、市職員の時差出勤、テレワークについて具体的に取組むべきではないか。

⑯ イベントに関しては早急な判断が必要ではないか。

⑰ 関連して、中国の経済がとまっているなかで、物品の購入がしづらなもの、仙台市においても見られます。

これから、感染症の拡大によって国内の経済も見通せず物品の購入が困難なものがでてくるともいいます。

市の業務を行っていくうえで必要な物品についてはあらかじめ購入をしていくことも市民の利益につながっていくと思えます。

財政局には契約課があります。庁内の部局によりかけていただいて、必要なものを適宜購入できるように考えていただきたいと思います。

⑱ アルコール消毒液はいまなかなか手に入らない。マスクもない、命を失うか、市立病院、保健所もある市民の命を守り、安全を確保するのが市役所。通常業務は市民生活に直結しています。このことについて答弁を求めます。

⑲ このウイルスの報道があり、クローズアップされてきたのが1月中旬。やれることをやってきました。準備ができていたのか。

今からでもやれること努力していただきたい。これからの1ヶ月が大変な重要な意味をもちます。民間によびかけるもの、市役所が考えていかなければならないものもあると思います。危機管理監に決意を伺います。

⑳ 最後に現状の危機管理レベル1、連絡本部の体制でいいか。県内に感染者がいらないからといってレベル2ではないということなのかもしれないが、そのようなことでよいのか。

他都市で感染者がでていっている段階でレベル2、危機警戒本部を設置すべきではないのか。他都市の警戒レベルにくらべるとゆるすぎる。急ぎ、危機警戒本部を設置するべき。早急なる対応を求めます。

今回の件をテレビの中でのこと、ひとごとのように思っているのではない。

危機はすぐそこにきている。このあとおこりうることに大至急出来ることすべてを対策でやりぬくことを求めます。

